

社会福祉法人浴光会国分寺病院

〒185-0014 国分寺市東恋ヶ窪 4－2－2

[診療時間やアクセス方法等の情報はこちら](#)

病棟の建築時期と構造

建物情報\病棟名	東館2階	東館3階	本館 2 階	本館 3 階						
建築時期	1997	1997	1996	1996						
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造						

保有する病棟と機能区分の選択状況（2023（令和5）年7月1日時点の機能）

病床の機能区分	病棟名									
高度急性期										
急性期										
回復期	東館2階	東館3階	本館 2 階	本館 3 階						
慢性期										
休棟中										
無回答等										

保有する病棟と機能区分の選択状況（2025年7月1日時点における病床の機能の予定）

病床の機能区分	病棟名									
高度急性期										
急性期										
回復期	東館2階	東館3階	本館 2 階	本館 3 階						
慢性期										
休棟予定										
廃止予定										
介護保険施設等へ移行予定										
無回答等										

2025年7月1日時点における病床の機能の予定において、介護保険施設等へ移行予定を選択した場合

病床の機能区分	病棟名									
介護医療院に移行予定										
介護老人保健施設に移行予定										
介護老人福祉施設に移行予定										
上記以外の介護サービスに移行予定										

「2025年 7 月 1 日時点の機能の実現」に向けて、それ以前に変更予定がある場合

病床の機能区分	病棟名									
高度急性期										
急性期										
回復期										
慢性期										
休棟予定										
廃止予定										
介護保険施設等へ移行予定										

無回答等	東館2階	東館3階	本館 2 階	本館 3 階						
変更予定年月	-	-	-	-						

(留意事項)

- 公表している項目の中には、診療報酬制度上で定められた診療行為の定義に従って集計した項目が多くありますが、その項目の解説については、医療関係者以外の方にも分かりやすい表現とする趣旨で記載しているため、診療報酬制度上の定義を詳細には記載していない場合があります。
- また、公表している項目の中には、個人情報保護の観点から、1以上10未満の値を「＊」で秘匿している項目があります。
- 「未確認」とされている情報は、未報告や報告内容の不整合があったことから確認が必要な情報になります。
- 施設全体の欄では、内容に「＊」,「未確認」とされている情報が含まれている場合に「※」を記載しています。
- 「-」とされている情報は、任意の報告項目や報告が不要となる場合、留意すべき報告対象期間について特段の情報がない場合に記載されています。

分野ごとの情報

◆基本情報（職員配置、届出の状況など）	◆患者の入退院等の状況	◆医療内容に関する情報（手術、リハビリテーションの実施状況など）
・設置主体 ・病床の状況 ・診療科 ・入院基本料・特定入院料及び届出病床数 ・DPC医療機関群の種類 ・救急告示病院、二次救急医療施設、三次救急医療施設の告示・認定の有無 ・承認の有無 ・診療報酬の届出の有無 ・職員数の状況 ・退院調整部門の設置状況 ・医療機器の台数 ・令和4年4月1日～令和5年7月1日の間に病棟の再編・見直しがあった場合の報告対象期間	・入院患者の状況（年間） ・入院患者の状況（年間／入棟前の場所・退棟先の場所の状況） ・退院後に在宅医療を必要とする患者の状況 ・看取りを行った患者数	・算定する入院基本用・特定入院料等の状況 ・手術の状況 ・がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩、精神医療への対応状況 ・重症患者への対応状況 ・救急医療の実施状況 ・急性期後の支援、在宅復帰の支援の状況 ・全身管理の状況 ・リハビリテーションの実施状況 ・長期療養患者の受入状況 ・重度の障害児等の受入状況 ・医科歯科の連携状況

◆基本情報（職員配置、届出の状況など）

設置主体（2023（令和5）年7月1日時点）

(項目の解説)		施設全体
設置主体	医療機関の開設者を区分別に示しています。	社会福祉法人

病床の状況

(項目の解説)		(項目の解説)							
(病 棟 名)		施設全体	東館2階	東館3階	本館2階	本館3階			
(機能区分)			回復期	回復期	回復期	回復期			
一般 病床	許可病床	42床	0床	42床	0床	0床			
	上記のうち医療法上の経過措置に該当する病床数	0床	0床	0床	0床	0床			
	最大使用病床数	42床	0床	42床	0床	0床			
	2025年7月1日時点の予定病床数	42床	0床	42床	0床	0床			
療養 病床	許可病床	116床	40床	0床	36床	40床			
	うち医療療養病床	116床	40床	0床	36床	40床			
	うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床			
	1年で使用した病床が最も多かった日の使用病床数	116床	40床	0床	36床	40床			
	うち医療療養病床	116床	40床	0床	36床	40床			
	うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床			
	2025年7月1日時点の予定病床数	116床	40床	0床	36床	40床			
	うち医療療養病床	116床	40床	0床	36床	40床			
	うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床			
	「最大使用病床数」の合計が0床である理由	-	-	-	-	-			

診療科

(項目の解説)		主とする診療科は、5割以上の患者を診療している診療科を示しています。5割を超える診療科がない場合は、上位3つの診療科を示しています。							
(病 棟 名)		東館2階	東館3階	本館2階	本館3階				
(機能区分)		回復期	回復期	回復期	回復期				
主とする診療科		内科	内科	内科	内科				
複数ある場合、上位3つ		-	-	-	-				
		-	-	-	-				
		-	-	-	-				

入院基本料・特定入院料及び届出病床数

(項目の解説)		入院基本料・特定入院料とは、入院時の基本料金に該当する点数ですが、種類によっては基本料金だけでなく、一定の検査や薬の費用などが包括されている場合もあります。病床を利用する患者の状態や職員の配置状況に応じて入院 1 日あたりの点数が設定されていて、様々な区分があります。 この項目は、医療機関において、どの入院基本料・特定入院料の病床がいくつ設定されているか（届出病床数）を示します。									
(病 棟 名)		東館2階	東館3階	本館 2 階	本館 3 階						
(機能区分)		回復期	回復期	回復期	回復期						
算定する入院基本料・特定入院料		地域包括ケア病棟入院料 1	地域包括ケア病棟入院料 1	回復期リハビリテーション病棟入院料 3	回復期リハビリテーション病棟入院料 3						
届出病床数		40床	42床	36床	40床						
病室単位の特定入院料		-	-	-	-						
届出病床数		0床	0床	0床	0床						
病室単位の特定入院料		-	-	-	-						
届出病床数		0床	0床	0床	0床						
介護療養病床において療養型介護療養施設サービス費等の届出あり		0床	0床	0床	0床						

	(項目の解説)	人工心肺を用いた手術とは、心臓手術などの際に心臓と肺の機能を代行する装置を用いて行う手術です。 胸腔鏡下手術とは、胸部を切り開くことはせず、胸部に開けた小さな穴から、胸部用の内視鏡などの器具を入れて行う手術で「きょうくきょうかしゅじゅつ」と読みます。 腹腔鏡下手術とは、腹部を切り開くことはせず、腹部に開けた小さな穴から、腹部用の内視鏡などの器具を入れて行う手術で「ふくくきょう かしゅじゅつ」と読みます。 値はこの手術を行った患者数です。							
	(病 棟 名)	施設全体	東館2階	東館3階	本館2階	本館3階			
	(機能区分)		-	-	-	-			
人工心肺を用いた手術		0件	0件	0件	0件	0件			
胸腔鏡下手術		0件	0件	0件	0件	0件			
腹腔鏡下手術		0件	0件	0件	0件	0件			

(心筋梗塞)

	(項目の解説)	経皮的冠動脈形成術は、狭心症や心筋梗塞等の患者に対し、胸部を切り開く開胸手術をせず、カテーテル（細い管状の医療器具）を用いて心臓の冠動脈を血管の内側から治療する手術です。値はこの手術を行った患者数です。							
	(病 棟 名)	施設全体	東館2階	東館3階	本館2階	本館3階			
	(機能区分)		-	-	-	-			
	経皮的冠動脈形成術	0件	0件	0件	0件	0件			

(分娩)

	(項目の解説)	分娩件数は、分娩を行った患者数です。							
	(病 棟 名)	施設全体	東館2階	東館3階	本館2 階	本館3 階			
	(機能区分)		回復期	回復期	回復期	回復期			
	分娩件数 (正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)	0件	0件	0件	0件	0件			

(項目の解説)	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を測定することが算定の要件となっている入院基本料（注加算含む）・特定入院料・入院基本料等加算の届出を行っている場合、項目ごとに令和4年4月1日～令和5年3月31日の1年間の在棟患者延べ数について「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度に係る評価票Ⅰ」、「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度に係る評価票Ⅱ」を用いて評価を行います。									
(病 棟 名)	東館2階	東館3階	本館 2 階	本館 3 階						
(機能区分)	回復期	回復期	回復期	回復期						
当該病棟において届出を行っている一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の評価方法	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅰ	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅰ	-	-						

